

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

開会日	令和3年6月25日（金）午後4時55分
閉会日	令和3年6月25日（金）午後5時35分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 議場
出席委員	委員長 山田かずひこ 副委員長 なかじま和代 委 員 青山直道 石じまきよし 伊藤真規子 大島令子 岡崎つよし 加藤和男 川合保生 木村さゆり ささせ順子 さとうゆみ 田崎あきひさ 富田えいじ 野村ひろし 山田けんたろう わたなべさつ子
欠席委員	な し
欠 員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	市長 吉田一平 総務部長 中西直起 次長 加藤英之 財政課長 嗟峨 剛 福祉部長 川本満男 福祉部次長 浅井俊光 <div style="text-align: right;">計6人</div>
職務のため出席した者の職氏名	議長 伊藤祐司 議会事務局長 水野敬久 議事課長 福岡弘恵 議事係長 吉田菜穂子
会議録	別紙のとおり

別紙

委員長 開会宣言
市長 あいさつ

議案第 39 号令和 3 年度長久手市一般会計補正予算（第 5 号）

委員長 令和 3 年 6 月 11 日の予算決算委員会にて各分科会に送付した議案 1 件について分科会長の報告を求める。

総務くらし建設分科会長

審査経過の報告

議案第 39 号（総務くらし建設分科会送付分）

※審査経過の詳細は[予算決算委員会総務くらし建設分科会会議録参照](#)

総務くらし建設分科会長報告に対する質疑 なし

教育福祉分科会長

審査経過の報告

議案第 39 号（教育福祉分科会送付分）

※審査経過の詳細は[予算決算委員会教育福祉分科会会議録参照](#)
教育福祉分科会長報告に対する質疑 なし

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

議案第 42 号令和 3 年度長久手市一般会計補正予算（第 6 号）

財政課長 議案第 42 号について説明

富田委員 新型コロナワクチンは、特例承認のワクチンで、短期的には安全であると確認しているが中長期的に安全であることは確認しているか。また、10 代、20 代では重傷者・死亡者はほとんどいない状況であるが、死亡者が出た場合の本市の考えはどのようなか。

健康推進課長 長期的な有効性や安全性の点でまだ不明な点はあるが、ワクチンの有効性は高く、新型コロナウイルス感染症を予防することができる。病気を予防するという点と副反応のリスクを比較して、利益がリスクを大きく上回る場合に接種が推奨される。また、今後、若い世代の接種が始まり、10代、20代の重症者・死亡者の事案が発生するかもしれないが、本市としては、情報を収集するとともに、国や県の通知や指示に基づき対応することとなる。

富田委員 強制的又は任意で職場から新型コロナウイルスワクチンを接種するよう勧められた場合の本市の相談窓口はどこで、どのように対応するのか。

健康推進課長 本市では、人権擁護委員による人権相談を実施しており、そこで相談を受けることができる。また、法務省の人権擁護機関の電話やインターネット相談や厚生労働省の総合労働相談コーナーの面談や電話相談を紹介する。

富田委員 かかりつけ医がいない方は、どこに相談すればよいか。

健康推進課長 県が設置する24時間体制の新型コロナウイルス感染症健康相談窓口を案内する。

伊藤(真)委員 新型コロナウイルスワクチン集団接種医師派遣委託823万1,000円は、福祉の家の土曜日、日曜日及び西庁舎の水曜日と木曜日と土曜日の午前を追加すると2倍以上の業務量となる。愛知医科大学病院に協力を依頼することになっているが研修医にも協力してもらうのか。

健康推進課長 新型コロナウイルスワクチン接種を拡大する西庁舎の水曜日と木曜日と土曜日の午前については、市内の医療機関の医師以外の愛知医科大学病院等の医師派遣となるが、愛知医科大学病院の研修医は派遣されないと確認している。

さとう委員 新型コロナウイルスワクチン予防接種委託5,214万3,000円と協力医療機関事務手数料976万円の合計6,190万3,000円を個別接種分として減額することになっているが個別接種を大幅に減額する理由と件数はどのようなか。

健康推進課長 当初は個別接種の割合を多く計上していたため試算をし直した。件数は5万600回分である。

財政課長 手数料の内訳は、廃棄物処理手数料182万2,000円の増額と協力医療機関事務手数料976万円の減額で合計793万8,000円の減額である。

さとう委員 市内の医療機関の個別接種分を5万600回分減らすということか。
健康推進課長 確認する。

<休憩：午後5時24分>

<再開：午後5時29分>

福祉部長 当初は、集団接種12.5パーセント、個別接種87.5パーセントの割合で予定をしていたが、最終的に市が接種する集団接種47パーセント、市以外の接種である大規模接種、職域接種及び個別病院を合わせ53パーセントとした。市内の医療機関の個別接種については協力医療機関事務手数料を支払う必要がある。協力医療機関事務手数料976万円の減額は、個別接種に支払う事務手数料で3万5,200回分の手数料を残した額で不用額を減額する。

さとう委員 西庁舎の集団接種と市内医療機関の個別接種ではファイザー社のワクチンであるが、第2会場となる福祉の家の集団接種はモデルナ社のワクチンとなった経緯はどのようなか。

健康推進課長 今後のワクチンの状況を確認し、モデルナ社のワクチンを申請した方が潤沢に入荷できる状況が見込まれることから本市としてはモデルナ社のワクチンを要求することにした。

さとう委員 本市のワクチン接種は令和3年のゴールデンウィーク明けから始まったが、これまで重篤反応をおこした方はいないか。

健康推進課長 重篤反応をおこした方の報告は今のところない。

質疑及び意見を終了

討論

反対討論 なし

賛成討論 なし

採決

賛成全員により、原案のとおり可決

委員長 委員長報告は委員長と副委員長への一任を確認。

委員長 閉会宣言

午後 5 時 35 分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和 3 年 6 月 25 日

予算決算委員会委員長 山田かずひこ